



知らないで大損 保険と税金



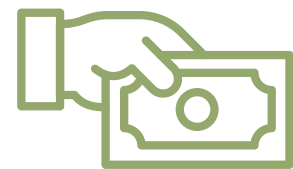
@ksan_money



3つの立場の違い

契約者

保険料を払う人
(お金を出す人)



被保険者

保険の対象になる人
(亡くなったら保険金が出る人)



受取人

保険金を受け取る人



契約・被保険者・受取人の組み合わせによって、
保険料を受け取った時の課税される税金の種類が変わる

保険の種類	支払い時	受取り時	課税される税金	ポイント
 死亡保険	控除対象 (生命保険料控除)	死亡保険金	相続税 / 贈与税 / 所得税	3者の関係で変わる (P4,5参照)
 医療保険	控除対象 (介護医療保険料控除)	入院給付金・ 手術給付金など	非課税	給付金は基本的に 非課税(治療目的)
 学資保険	控除対象 (生命保険料控除)	満期保険金・ 祝い金	所得税(一時所得)	満期時は「一時所得」 扱いになるケースあり
 介護保険	控除対象 (介護医療保険料控除)	給付金	非課税	公的介護保険と同様、 非課税扱い
 個人年金保険	控除対象 (個人年金保険料控除)	一括受取・ 年金受取	一時所得 / 雑所得 / 贈与税+雑所得	受取方法にも違いあり 贈与税のリスク大 (P6参照)



死亡保険の税金



ケース	税金の種類	ポイント
契約者  被保険者  受取人	相続税	非課税枠あり・一般的
契約者  被保険者  受取人 (契約者と同一)	所得税（一時所得）	税率低め・控除あり
契約者  被保険者  受取人 (契約者と異なる)	贈与税	税率が高くなりやすい



死亡保険の税金

契約者		被保険者		受取人	税金の種類
 (例) 夫	=	 (例) 夫	≠	 (例) 妻	【相続税】 「夫が契約・死亡、妻が受取り」のパターン 相続税だが“非課税枠”がある（500万円×法定相続人の数）
 (例) 夫	≠	 (例) 妻	≠	 (例) 夫	【所得税（一時所得）】 「夫が保険料を払って、妻が亡くなり、夫が受け取る」 自分で払って自分で受け取るので所得税の対象に
 (例) 夫	≠	 (例) 妻	≠	 (例) 子	【贈与税】 「夫が保険料を払って、妻が死亡、子どもが受け取る」 贈与税になることも



個人年金保険の税金



パターン	税金の種類	ポイント
契約者 = 被保険者 = 一括受取人	所得税（一時所得）	50万円控除あり、税負担軽め。 控除 & 全体の1/2が一時所得の対象。
契約者 = 被保険者 = 年金受取人	所得税（雑所得）	一般的な個人年金。公的年金と 同じく「雑所得」で課税。
契約者 ≠ 年金受取人 (例：親が契約、子が受取り)	贈与税 + 所得税	年金受取開始時は贈与税で税金高め。 その後、受け取った年金には所得税。